

研究テーマ：九州地域広域接続実験における多様なアプリケーション実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17022)

研究機関：九州工業大学情報工学部、大分大学工学部、宮崎大学総合情報処理センター、宮崎大学教育実践総合センター、大分県IT推進課、宮崎県情報政策課、(社)九州経済連合会、(財)ハイパーネットワーク社会研究所、アボック(株)、NPO法人NetComさが

研究の概要：

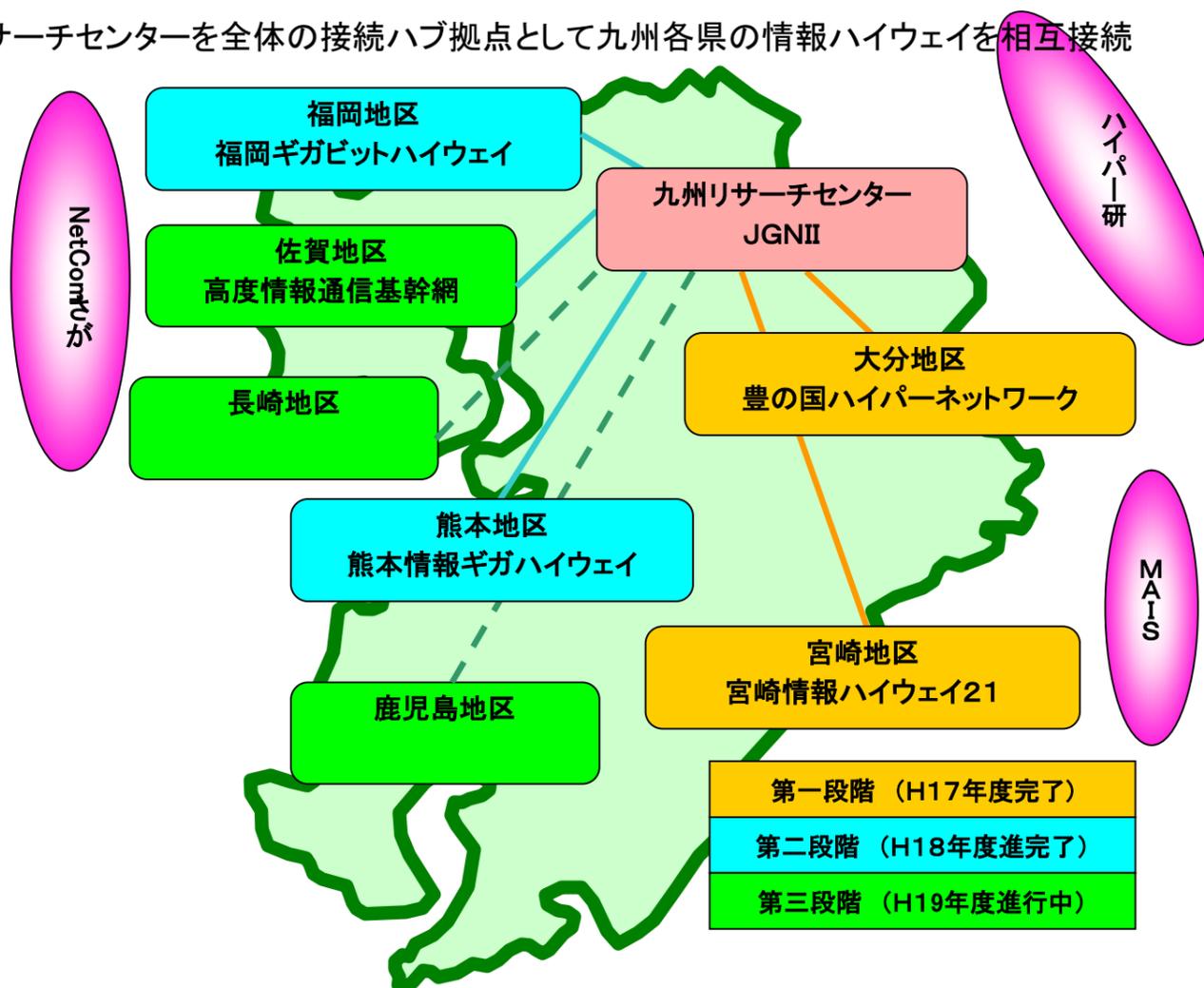
JGN II を高速バックボーンとし、各地域の情報ネットワークを広域接続し、それらのネットワーク上で展開しうる様々な地域アプリケーションの広域検証・モデル企画開発等を地域の様々な方々を交えて進めていくものである。

[具体的実験項目]

- ・高精細テレビ会議システムによる遠隔交流授業実験
- ・広域災害情報共有システム(通称 WIDIS)を活用した広域実験
- ・地域CATVコンテンツ相互配信実験

[接続概念図]

・九州リサーチセンターを全体の接続ハブ拠点として九州各県の情報ハイウェイを相互接続



- 技術的検証事項
 - ・トポロジの異なる多様なネットワーク間のシームレスな接続環境構築実験
 - ・防災・地域メディアの現場で求められる遠隔コミュニケーションツールの多目的検証
- 実験対象アプリケーション・県間遠隔交流授業の拡大、防災システムの共同検証、CATVコンテンツ連携検証

研究の目的：

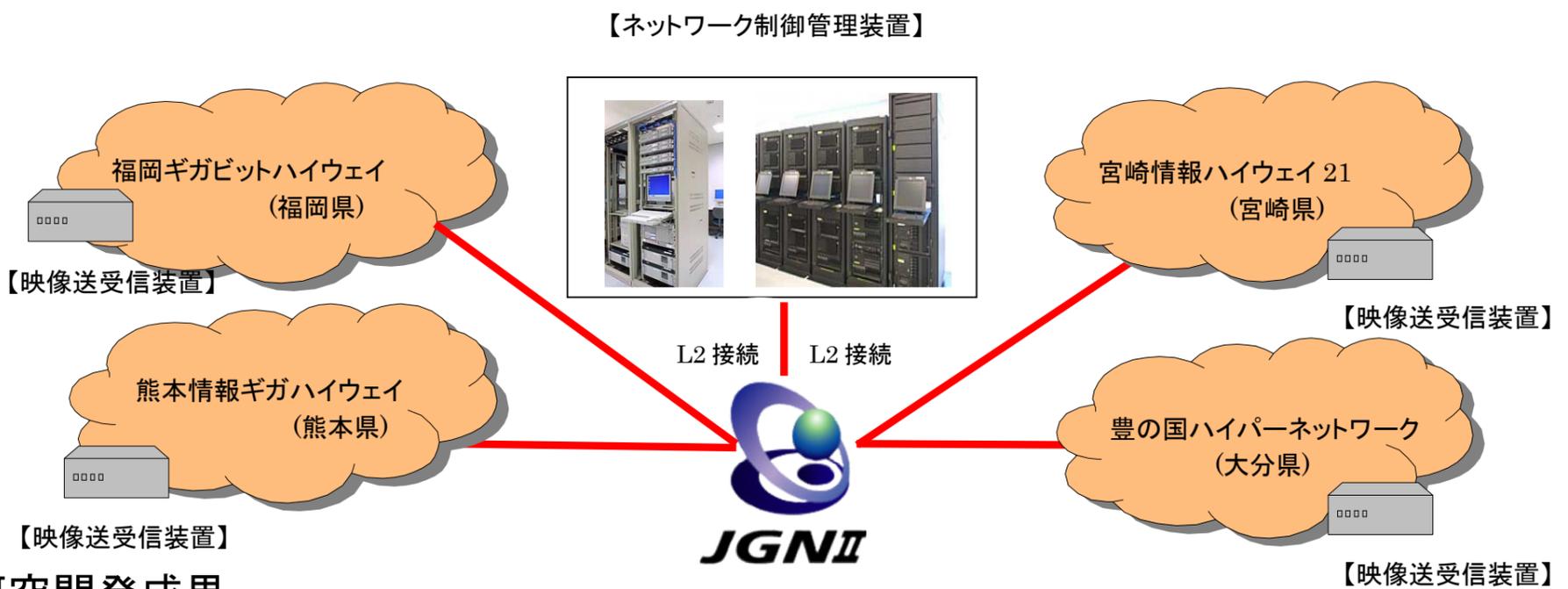
地域におけるネットワークアプリケーションの成熟を高め、高速ネットワークの有効活用を地域間で様々な関係者が連携して検討していくことにより、本プロジェクトが、九州エリア全体としてのブロードバンド化を牽引していくことを主目的とする。

研究テーマ：九州地域広域接続実験における多様なアプリケーション実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17022)

研究機関：九州工業大学情報工学部、大分大学工学部、宮崎大学総合情報処理センター、宮崎大学教育実践総合センター、大分県IT推進課、宮崎県情報政策課、(社)九州・山口経済連合会、(財)ハイパーネットワーク社会研究所、アボック(株) NPO法人NetComさが

実験機器構成：



研究開発成果：

学校教育現場での検証、CATV等といった地域メディア間の接続検証、防災分野における広域アプリケーション機能等に求められる点に関して検証等、対象の幅を広げていく考察することができた。ICTをベースとした今後の九州内における新たな広域連携の可能性を探ることができた。今後さらに、広域接続を推進し、具体的検証アプリを確定後、他県(鹿児島県・長崎県等)にも接続を拡大していく予定。

[遠隔交流授業風景]



[地域メディア分野の実験風景]



[防災分野の実験風景]



プロジェクトのアピールポイント：

九州の接続拠点を利用したアプリケーションの検証することでさまざまな考察をすることが出来、ICTをベースとした今後の九州内における新たな広域連携の可能性を探ることができた。

プロジェクトの自己評価：

本実験の成果が九州地域における産学官連携体制の充実に向けた検討のきっかけになり通信事業者、各大学、ICT関連企業、研究機関等を加え九州全域を見据えた産学官連携体制を目指す九州情報通信連携推進協議会の設立に大きな貢献を果たした。